

関連項目：教育活動プラン②

## あいさつプロジェクトの推進

### 目的

本校の児童は、素直で物事にまじめに取り組んでいます。また、日常的に上級生が下級生の世話をすることが伝統的に受け継がれています。しかし、知り合いや友達の中にいるときは自分の考えなどを言えますが、知らない人の前や公式な場に出ると言えなくなる児童が多いです。そこで、学校や地域の中でだれに対しても、自分の考えや思いがはっきりと言えるようにするために、だれに対してもあいさつができるよう、あいさつプロジェクトに取り組むことにしました。

### 内容

#### ● あいさつプロジェクトの推進

学級や縦割り班・地域の友達同士のふれ合いや、気持ちの良いあいさつを交わすことで、良い仲間づくりをします。

また、あいさつを交わすことで、親密な人間関係を構築し、集団の中で自己を表現できるようにします。

#### ● 学級・縦割り班でのあいさつ運動

児童会が中心となって、毎月1回1週間児童玄関に立ってあいさつをしています。あいさつの様子を、児童会役員が給食時に放送します。その放送は、良かった点を見つけ放送し、放送の最後に、次の学級・縦割り班がどこであるか放送しています。

また、当日参加できなかった児童は、次の日に参加しています。バス通学の児童は、バスの到着時間に合わせて運動に参加するなど、児童会で個に応じたルールを決めて実践しています。

#### ● 地域であいさつの取り組み

全校児童が67名と少人数であるため、児童玄関で登校する友達だけにあいさつをするのではマンネリ化が生じてしまいます。そこで、「地域であいさつ」のプロジェクトを行っています。

地域の人たちは、「常日頃からよくあいさつはできている。」と言ってくれていますが、より多くの人とあいさつを交わすことで、人に臆することなくどんな人にも、どんな時でも自分の考えや意見が言えるようになって欲しいと願っています。



### 成果

こうした取り組みをすることで、地域で会がある毎に、地域の人たちからは「あいさつはできるようになってきた。」と言われることが多くなってきました。今後も、全校児童の減少が見込まれる中、地域の人たちの力を借りて、あいさつひいては自己表現ができるようにしていきたいと思えます。